



1 大学訪問～敬愛大学・千葉大学～

今年度から本格稼働します「**教員基礎コース**」についての打合せのため、庄司校長が、敬愛大学と千葉大学を訪問しました。

敬愛大学では、本校の同窓生でもある三幣利夫学長がお話しの輪に加わってくださり、後輩（安房高生）への期待と休日開放講座への参加など本校への協力・支援についてお話しいただきました。教員基礎コースをご担当いただく田村孝教授に加え、前津田沼高校校長の井上茂特任教授から、教員を志す生徒たちへの熱い思いが語られました。

千葉大学では、教育学部長の高橋浩之教授はじめ教員養成開発センター長の保坂亨教授並びに集中講義を御担当いただく伏見陽児教授、土田雄一特任教授が対応していただきました。本校同様のコースを持つ千葉女子高校との共同学習などについて具体的な提案をいただくなど、動き始めた本校にとって大変ありがたい御助言を頂戴することができました。

第1回集中講義

5月9日（土）9時 ～10時30分

「教員になるには」 田村 孝 教授（敬愛大学）

10時40分～12時10分

「千葉大学教育学部の授業の実際～人間関係作りの理論と実際～」

土田 雄一 教授（千葉大学）



2 学校紹介～第2回～

まずは、前号でご紹介した京都市立弥栄中学校の取組の続きからです。

「人は変わらんというけども、子どもが子どもを変える。子どもが保護者を変える。子どもが地域を変える。子どもが変われば保護者は変わる。保護者が変われば地域は変わるんや。結果を出せ。結果とは子どもを変えることや。」

森田校長のもとに、川島浩明先生ら中堅・若手の先生方が結集し、極めて高度な教育活動である舞台演劇への取組は開始されました。

統合前に何としてでも弥栄に行きたいとの我が儘を快く受け止めてくださり訪問させていただきました。翌年には、千葉に川島先生を呼んでお話しを聞かせていただくことができました（右写真）。



「異動希望ゼロから異動希望ゼロへ」（キセキの集団）…川島先生は、自らが属した集団を誇りを込めてそう呼びました。並大抵のことではなかったと思います。（川島先生とその教え子たちとのこと、そして川島先生ご自身のこと、その事実は重いのです。）…彼はそれをさわやかに振り返ります。…「希望」が合い言葉でしたと…

※弥栄の実践を特集した記事 <http://www.edu.city.kyoto.jp/hp/yasaka-c/data/1103/kizuna2-01.pdf>

「あの子はあんなこともできない」と嘆いたり、「この学校の生徒は…」「あそのクラスは…」という愚痴ほど残念なものはないと思います。

できないことを少しでもできるようにすること、昨日の5を今日は6にしようとする、異動希望ゼロの学校を変える一人になろうとすること…そんなことに懸命になる人が各地にはたくさんいます。



現在、校長として立命館中学・高等学校を率います
成山治彦先生もまたそのような素晴らしい一人です。

左の写真は、無理をお願いして千葉にお招きした時の様子です。

成山先生は、大阪の現場（高校）から、府教育委員会のトップを務められた偉い方ですが、肩書きが偉いのではなく、私のような他県の風来坊を本当に親切に導いてくださる方です。

先生が強い関わりを持ってきたのは、西成高校、松原高校、柴島高校などいずれも「しんどさ」を抱えた子どもたちが少なくはない学校です。

現在は有名進学校にお勤めですが、一貫しておられるのは、すべての子どもに対する「学力保障」への強い思いです。

現任校での実践（SSH・SGH・アクティブラーニング等）は本校も学ぶところが大きいと思います。

※次号で考えたいと思います。



成山先生の編著作

私は恥ずかしながら、この本から「学級開き」「学校開き」を知りました

column

静岡で生まれ育ったRYさんは、中学生の時に母と観た「都をどり」に惹かれ、“私もあんなふうになりたい”と中学卒業と同時に単身祇園に飛び込み舞妓の道を志しました。以来7年…厳しい花街の世界で舞妓から芸妓となり、その舞は研ぎ澄まされていきました。一昨年引退したRYさんは、現所在地元静岡の定時制高校2年生です。自分よりうんと年下のやんちゃ君たちに混じって高校生活を送っています。

…学ぶことの尊さを思います。